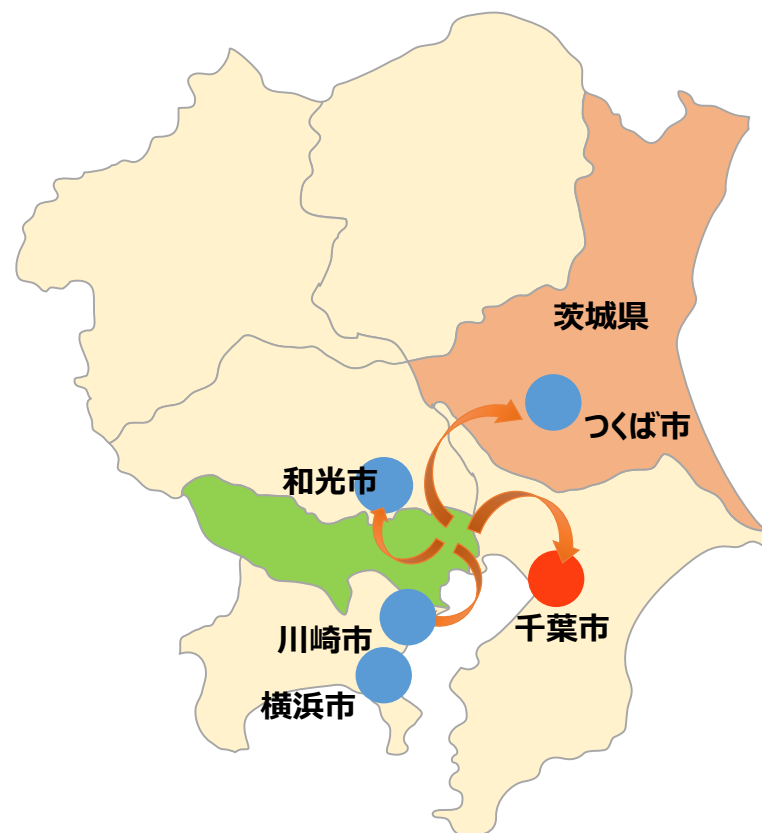


Ⅱ. 地方自治体の取組(7/9)

4. 他の自治体等との連携

- 会員自治体との間で取組状況・課題の共有、Slackを活用した相互の情報発信等を実施。互いのイベントにも登壇する等の連携も実施。
- 会員自治体において連携や支援をしたスタートアップに対し、コンソーシアムへの入会やイベント登壇等、コンソーシアムの取組に参加してもらう流れを形成。
- 広域連携自治体等においても、各都市の特色を生かした積極的なエコシステム形成の取組が展開、自治体同士のコラボレーションも進行。(広域連携自治体等(川崎市、横浜市、つくば市、茨城県、渋谷区)の取組は別添資料を参照)
- 令和4年6月には千葉市がコンソーシアムに入会。コンソーシアムに新たな範囲が加わり、自治体により広域に連携することで、更なるスタートアップ支援に取り組んでいく。
(千葉市の取組は別添資料を参照)



II. 地方自治体の取組(8/9)

5. 国の施策との連携

- 内閣府「スタートアップ・エコシステム形成推進事業」拠点都市8カ所のスタートアップを対象とした「スタートアップシティ・アクセラレーションプログラム」において、東京コンソーシアムより、「優先枠」企業(参加審査免除):6社、「推薦枠」(参加審査時優遇)企業:9社、計15社を選出。
- JST令和3年度大学発新産業創出プログラム(START) 大学・エコシステム推進型について、東京コンソーシアムから東京大学、早稲田大学、東京工業大学を主幹機関としたGreater Tokyo Innovation Ecosystem(GTIE)が採択され、大学、企業、VC、アクセラレーター、自治体等が連携して、グローバルな大学発スタートアップの育成・創出を目指し取組を開始。
- JST共創の場形成支援プログラム(COI-NEXT)の令和3年度新規採択プロジェクトとして、慶應義塾大学を代表機関とした「誰もが参加し繋がることでウェルビーイングを実現する都市型ヘルスコモンズ共創拠点」が採択。大学、企業、スタートアップ、自治体等が連携し、高齢化社会における課題を解決するサービスの開発・実装を目指す取組を開始。
- 令和3年度内閣府補正予算による「スタートアップ・エコシステム拠点都市機能強化プログラム」について、東京都からディープレック系スタートアップを海外派遣及び受け入れるプログラム案を申請し、採択。実施に向け現在調整中

Ⅱ. 地方自治体の取組(9/9)

6. スタートアップ調達

■東京都トライアル発注認定制度

・都内中小企業者（スタートアップを含む）の新規性の高い優れた新商品及び新役務（サービス）の普及を支援するため、東京都が新商品等を認定してPR等を行うとともに、その一部を試験的に購入し評価する制度

→認定商品数7件、試験購入した認定商品4件（令和3年度実績）

■行政課題解決型スタートアップ支援事業「TOKYO UPGRADE SQUARE」

・都政課題の解決に資するこれまでにない製品・サービスを提供するスタートアップによるピッチイベントを開催し、行政機関、VCや企業等との交流の場を創出するイベントを実施

→ピッチイベント9回、プロジェクト創出数8件（令和3年度実績）

■キングサーモンプロジェクト(King Salmon Project)

・スタートアップと都政課題のマッチング、都政の現場を活用した先行導入と販路拡大のための戦略立案等の支援、事例のモデル化による水平展開を通じて、今後のロールモデルとなるような、グローバル市場を席捲する課題解決型のスタートアップ企業（「キングサーモン企業」）を東京から輩出【再掲】

→公共調達の件数10件（令和3年度実績）

Ⅲ. 民間組織の取組(1/4)

東京では、地域で活動するVCやアクセラレーター、大企業・中堅企業が各々の強みを活かしてスタートアップ支援に取り組んでいる。主な活動実績(取組の概要)は以下のとおり

企業名	主な取組の概要
JVCA	<ul style="list-style-type: none">VCのネットワーク拡大、連携強化を目的として定期的にセミナーを実施。独立系、金融系、大学、CVCなど多様なキャピタリストが参加する。
(株)東京大学 エッジキャピタル パートナーズ (UTECH)	<ul style="list-style-type: none">新ファンド(UTECH5号投資事業有限責任組合)組成(2021年5月7日設立)し、同7月1日にファンドサイズ304.1億円で募集完了、ファンドサイズの過半が運用系機関投資家に。UTECH Founders Programにおいて、以下2種類のプログラムを実施 Equity Track: 創業直後からプレシリーズA前後のスタートアップに対して、ファンドから上限1億円の投資を行うプログラム Grant Track: 創業前から外部調達前のスタートアップ/チームに対して、事業化支援プログラムと事業化支援資金(株式や借入でない返済不要の補助金)を提供するプログラム
(株)慶應イノベーション・イニシアティブ(KII)	<ul style="list-style-type: none">慶應義塾大学「健康医療ベンチャー大賞」において、審査委員長、1次・2次メンター、協賛企業として協力慶應義塾大学大学院理工学研究科「慶應イノベーション・イニシアティブ寄付アントレプレナー育成講座」において、寄付及び講師、メンターとして協力その他、経済産業省主催ジャパン・ヘルスケアビジネスコンテストや、JVCA、MedUnet(全国医薬系大学ネットワーク)、自治体、金融機関等主催の起業家支援イベントへ審査委員や講師として登壇実績多数
三井不動産(株)	<ul style="list-style-type: none">産学の有志と設立した一般社団法人ライフサイエンス・イノベーション・ネットワーク・ジャパン(LINK-J)において、ライフサイエンス分野での新産業創造をめざしたイベントを524回(2021年)開催。ライフサイエンス領域:国内外のアカデミアやベンチャーキャピタルを集積、グローバルな連携の促進を目的としたライフサイエンス拠点「GLOBAL LIFESCIENCE HUB」の運営宇宙関連領域のビジネス拡大プロジェクト「X-NIHONBASHI」の一環として、宇宙領域に関連するイベント「NIHONBASHI SPACE WEEK」を集中的に日本橋で開催千葉・柏の葉エリアにおいて、実証実験プラットフォーム「イノベーションフィールド柏の葉(IF柏の葉)」にて、各種実証実験の受入れを実施
三菱地所(株)	<ul style="list-style-type: none">大手町・丸の内・有楽町エリアのイノベーションエコシステム形成を担うTokyo Marunouchi Innovation Platform(TMIP)にてTMIPパートナーVC等と連携し、イベントを実施スタートアップのインキュベーションを行う施設の運営及び誘致を実施起業家支援を行うSAAIの運営

Ⅲ. 民間組織の取組(2/4)

企業名

主な取組の概要

森ビル(株)

- VC、アクセラレータ等のイベントやプログラムのスポンサーを実施する等連携し、スタートアップ支援策を多数実施
- インキュベーションセンター「ARCH」やVCが集積するラウンジ併設型オフィス「KaleidoWorks」を運営し、多数のセミナーやイベントを実施
- メディアと連携して番組放映やイベントを行い、オープンイノベーションの促進・事例発信を実施
- イノベーションリーダーズサミット:対面とオンラインイベントを2つの会期に分けて開催

東急(株)

- 東急アライアンスプラットフォーム(TAP): Demo Day(TAPの応募スタートアップと東急グループの事業共創ピッチを実施)
- SOIL:オープンイノベーションに関連するイベントの実施
- QWS:イノベーションに関連するイベントの実施(186回)

東急不動産(株)

- CVC:スタートアップ企業への出資、VCへのLP出資
- PnP渋谷:イノベーションに関連するイベントの実施
- 「未来シェアリング」のコンセプトを掲げ、コンソーシアム形式でイノベーションを育成する場所「ニュートラル・イノベーション・ベース」を2021年4月1日よりスタート。2022年4月には中核施設となるコワーキングスペース、NIB WORKSPACE by MIDORI.soを開業。2022年12月コミュニティ/コワーキング機能を備えたサウナ(渋谷サウナス)を開業予定。

東京商工会議所

- 「創業・スタートアップ実態調査」の実施(調査対象:業歴10年未満の東京都内中小企業事業者12,000社)
- 学生に対する起業家講演会の実施(武蔵野大学、明治大学、慶応義塾大学で実施)
- 創業ゼミナール事業、創業相談の実施(のべ2,000件以上)

日本経済団体連合会

- 提言「スタートアップ躍進ビジョン～10X10Xを目指して」を公表(2022.3.15)。東京都を想定の下、「日本を世界有数のスタートアップ集積地に」を柱の一つに掲げ、実現に向けた各種政策を提言

III. 民間組織の取組(3/4)

1. 地域で活動するVC、アクセラレーターの取組

東京に集積する様々なVCやアクセラレーターが、各地域の中核企業や大学、政府機関等と連携しながら、継続的にスタートアップ支援活動を展開

日本ベンチャーキャピタル協会:
VCのネットワーク拡大・連携強化を目的として、独立系、金融系、大学、CVCなど多様なキャピタリストが参加し、定期的にセミナーを実施

渋谷エリア関連:
・Plug and Play Shibuya powered by 東急不動産
シリコンバレーに本社を置くVC及びアクセラレーター。大手企業とスタートアップの事業連携を目的としたアクセラレートプログラムを実施。スタートアップ支援のみにとどまらず、パートナー企業同士を繋げるイベントを定期的実施するなど、スタートアップコミュニティの構築に貢献。
・東急アライアンスプラットフォーム(TAP)
東急グループの事業者が持つ様々なアセットやリアル顧客接点等を活用し、用途開発支援と社会実装支援を行うスタートアップ支援プログラム。企業からの応募の通年の受付及びDemoDayの実施。

六本木・赤坂・虎ノ門エリア関連:
・CIC Tokyo
国内最大級のスタートアップ向けコワーキング。約200社を超えるスタートアップ及びスタートアップ支援企業等が入居。年間200回以上のイベントを開催。
・KaleidoWorks
多くのベンチャーキャピタルが集積するラウンジ付ワークプレイス。ベンチャーキャピタルによるスタートアップ企業へのハンズオンによる事業拡大の支援や起業家やキャピタリスト人材の育成プログラムなどが開催される。(IncubateFund、BDashVentures、Strive、JVCA)
・アクセラレーター、人材育成
WiL等、政府機関や企業のアクセラレータープログラムの運営を支援する様々なプレーヤーが拠点を構え活動を行っている。

東大エッジキャピタルパートナーズ(UTEC)
・新ファンド(UTEC5号投資事業有限責任組合)組成(2021年5月7日設立)
・UTEC Founders Program
Equity Track(創業直後からプレシリーズA前後のスタートアップに対して、ファンドから、上限1億円の投資を行うプログラム)とGrant Track(創業前から外部調達前のスタートアップ/チームに対して、事業化支援プログラムと事業化支援資金(株式や借入でない返済不要の補助金)を提供するプログラム)の2種類のプログラムを実施

慶應イノベーション・イニシアティブ(KII)
・慶應義塾大学「健康医療ベンチャー大賞」開催(審査委員長、1次・2次メンター、協賛企業として協力)
・慶應義塾大学大学院理工学研究科「慶應イノベーション・イニシアティブ寄付アントレプレナー育成講座」(寄付、講師、メンターとして協力)
・その他、経済産業省主催ジャパン・ヘルスケアビジネスコンテストや、JVCA、MedUnet(全国医薬系大学ネットワーク)、自治体、金融機関等主催の起業家支援イベントへ審査委員や講師として登壇実績多数

大手町・丸の内・有楽町エリア関連:
・Tokyo Marunouchi Innovation Platform(TMIP)
三菱地所が大手町・丸の内・有楽町エリアのイノベーションエコシステム形成を担うTokyo Marunouchi Innovation Platform(TMIP)にてTMIPパートナーVC等と連携し、イベントを実施(オンラインで計5回)

日本橋エリア関連:
・GLOBAL LIFESCIENCE HUB
三井不動産が日本橋室町三井タワーにライフサイエンス領域のVCが集積し、協業するための施設として運営
・BRAVE(2016年から毎年開催しているディープテックに特化した事業化支援プログラム)やX DOJO(XR、ロボティクス、AI分野のシード、プレ・シード期のスタートアップ対象のアクセラレータープログラム)等のディープテック・ハードテック系スタートアップ支援プログラムを実施

Ⅲ. 民間組織の取組(4/4)

2. スタートアップを支援する地域の大企業・中堅企業の取組

経団連:提言「スタートアップ躍進ビジョン～10X10Xを目指して」を公表(2022.3.15)。「日本を世界有数のスタートアップ集積地に」を柱の一つに掲げ、実現に向けた各種政策を提言

東京商工会議所:「創業・スタートアップ実態調査」の実施や、学生に対する起業家講演会、創業ゼミナール事業、創業相談の実施

渋谷エリア:IT・クリエイティブコンテンツ系企業の集積

(東急不動産)

・ニュートラル・イノベーション・ベース(NIB)

東急不動産が中心となり、2021年4月、「未来シェアリング」のコンセプトのもとイノベーションを育成するコンソーシアムを開始。2022年4月には中核施設となるコワーキングスペース、NIB WORKSPACE by MIDORI.soを開業。また、2022年12月にはコミュニティ/コワーキング機能を備えたサウナ(渋谷サウナス)を開業予定。

(東急)

・SHIBUYA QWS ※子会社である渋谷スクランブルスクエア株式会社が運営:

日本のスタートアップエコシステムにおいて課題とされているシード支援・Exitのうち主にシードの支援をするために、大学をはじめとするさまざまな領域のパートナーと連携し、新たな社会価値の創出を加速させるオリジナルのプログラムやイベント、コミュニティの醸成に取り組む。

日本橋エリアほか:AI・ライフサイエンス関連のイノベーション拠点

(三井不動産)

・一般社団法人ライフサイエンス・イノベーション・ネットワーク・ジャパン(LINK-J)において、スタートアップ、大企業、官公庁、業界団体などのコミュニティ形成、スタートアップ支援、産学連携支援を実施

・ベンチャー企業をはじめとしたライフサイエンス分野のプレーヤーが利用できるオフィスを日本橋エリアに整備し、日本橋ライフサイエンスビルシリーズ15か所に150社以上が入居

・宇宙関連領域のビジネス拡大プロジェクト「X-NIHONBASHI」の一環として、宇宙領域に関連するイベント「NIHONBASHI SPACE WEEK」を日本橋で開催

・大人起業家のための環境設計プログラム「Swing-By」(本業とは別のサイドプロジェクトとしての事業開発を支援するコミュニティプログラム)の実施
・新木場及び葛西において賃貸ラボ&オフィス「三井のリンクラボ」の提供の実施

六本木・赤坂・虎ノ門エリア:外資系企業が集まる国際ビジネス拠点

(森ビル)

・虎ノ門ヒルズインキュベーションセンター「ARCH」

年間200回以上のセミナー、イベントを開催。約110社の国内大企業が新規事業の創出に取り組む。

・KaleidoWorks

独立系VC3社、JVCAが入居するラウンジ併設型オフィス。JVCAのイベントをはじめ、各社が支援するスタートアップ企業の支援等を行う。

・メディア連携

テレビ東京やJ-WAVE等のメディアと連携して番組放映やイベントを行うことで、オープンイノベーションの促進・事例発信を実施

大手町・丸の内・有楽町エリア:日本有数の大企業が集積する中心地

(三菱地所)

・大手町・丸の内・有楽町エリアのイノベーションエコシステム形成を担うTokyo Marunouchi Innovation Platform(TMIP)を運営

・スタートアップのインキュベーションを行う施設の運営及び誘致を実施

・起業家支援を行う「有楽町「SAAI」Wonder Working Community」の運営
SAAIプロデューサーにより情報発信をイベントで実施

・スタートアップの取り組みを紹介するオウンドメディア「xTECH Web」の運営

IV. 大学の取組(1/6)

- 東京コンソーシアム会員として2022年6月時点で25の大学・研究機関が加盟
- 各大学を拠点としたエコシステム形成の取組が進行

1. 地域における大学のスタートアップ創出・支援の取組(1/2)

大学名	主な取組の概要
慶應義塾大学	<ul style="list-style-type: none">第6回健康医療ベンチャー大賞(2021年12月19日Web開催) → ビジネスコンテスト。VCからの資金調達、公的研究資金や事業開発支援資金への採択に繋がっている第22回慶應義塾科学技術展「KEIO TECHNO-MALL」(2021年12月10日Web開催) → 産官学連携のきっかけとなる「出会いの場を提供するイベント」JSTのSCORE大学推進型(拠点都市環境整備型)の共同機関として参画(東工大が主幹機関)し、イベントやGap Fundの設計、スタートアップ候補の研究者や学生、慶應から5組に補助金を配布。ピッチイベントを実施Resaerch Studio。AMED橋渡し事業の一環としてスタートアップ創業前後の研究者、チームをメンターチームによって3か月支援。スタンフォード大学のアクセラレーションプログラムのSPARKと連携
順天堂大学	<ul style="list-style-type: none">順天堂大学オープンイノベーションプログラムGAUDIIにて研究者の医療系スタートアップに係る相談への包括的支援を実施
東京大学	<ul style="list-style-type: none">民間企業からの支援を受け、東大の卒業生・研究者・学生を対象とした起業支援プログラム「東京大学FoundX」を実施千葉県・柏市と共に柏の葉地域における新規産業の創出に取り組む「産学協創プラットフォーム拠点」として整備された「柏Ⅱキャンパス産学官民連携棟」(平成31年3月開設)にて、インキュベーション施設の入居者への起業環境の提供や、オープンラボでの新規産業創出を目指した共同研究等の実施
東京工業大学	<ul style="list-style-type: none">科学技術振興機構(JST)「社会還元加速プログラム(SCORE)大学推進型－拠点都市環境整備型」採択「東工大発ベンチャー」称号授与制度Tokyo Tech OPen innovation & venture/research festival (TTOP)」をオープンイノベーションの推進及び東工大発ベンチャー企業へのネットワーキング及びビジネスチャンスや人材・資金のマッチング機会の提供のため開催。東工大学生向け起業支援プログラム「STARTech(実践起業塾)」実施東工大発ベンチャー向けインキュベーションオフィスの提供

IV. 大学の取組(2/6)

1. 地域における大学のスタートアップ創出・支援の取組(2/2)

大学名	主な取組の概要
早稲田大学	<ul style="list-style-type: none">• JST「社会還元加速プログラム(SCORE)大学推進型」の予算を活用したPoCファンドプログラムにおいて、2021年度は6件の学内課題を採択し、PoC活動を実施して事業化の検証を実施
筑波大学	<ul style="list-style-type: none">• ベンチャー起業相談室を運営• 筑波大学発ベンチャー称号授与・大学施設での登記について審議、25社に授与• 筑波大学発ベンチャーシンポジウムを実施(2021.12)• 独自公募事業「事業化促進プロジェクト」を実施• JST「社会還元加速プログラム(SCORE)大学推進型」により、学内研究開発課題の企業活動支援を実施
横浜市立大学	<ul style="list-style-type: none">• SCORE 横浜プラットフォーム主催セミナー「研究開発成果を社会実装する」• YOXOカレッジ(SCORE事業で設置したオンラインプラットフォーム)キックオフイベント
千葉大学	<ul style="list-style-type: none">• 学内型のビジネスプランのブラッシュアップとビジネスコンテストを組み込んだプログラム「第19回なのはなコンペ2021」、ディープテックスタートアップ創出「第1回なのはなコンペ(アドバンスコース)2021」を実施

IV. 大学の取組(3/6)

2. 地域の大学における起業家教育の取組(1/2)

大学名	主な取組の概要
慶應義塾大学	<ul style="list-style-type: none">Keio Medical Application Challengeにおいて起業前の人材のアントレプレナーシップ促進のために、プログラム医療機器を中心とする医療系アプリケーション開発のプランニングを実施。医学研究科修士課程アントレプレナー育成コース実施。ASG慶應反分野的研究フォーラム「Scienc-Ome」実施(全く異なる分野のアイデアの融合や人の交流から新たな科学的発展が生まれることを目的に若手研究者、学生(高校生を含む)を対象としたオンラインセミナー)ジュニアドクター育成塾KEIO WIZARD開催(JSTや企業、学内資金をもとに、社会にあるニーズに目を向け課題を見つけ出し、科学の力で応えるパスツール型の発想や行動、起業家マインドを持つジュニアドクターの育成プログラム)バイオデザインワークショップ at 慶應の実施(東京大学バイオデザインチームの協力のもと、連携してスタンフォード大学にて開始された医療機器開発、アントレプレナー教育のデザイン思考についてのオンラインセミナー)
順天堂大学	<ul style="list-style-type: none">起業を目指す研究者などへの教育プログラムを実施 「事業化に踏み出す前に知っておきたいベンチャーキャピタルのリアル」(2022年8月19日) 「事業計画策定時に考慮すべき基本構成の説明」(2022年2月22日)
東京大学	<ul style="list-style-type: none">アントレプレナー道場(東京大学の学部生、大学院生、ポスドクを対象としたアントレプレナーシップ教育プログラム)EDGE-NEXTプログラム(文部科学省プログラム、研究者のイノベーション人材化を目指した教育プログラムを提供)アントレプレナーシップ関連授業(工学部「アントレプレナーシップ」、工学系研究科「Innovation and Entrepreneurship」、 「バイオエンジニアリング演習」等)Today To Texas プロジェクト(東京大学関連のスタートアップや学生プロジェクトをSXSWの展示会に派遣、出展) ※2021年度は、新型コロナウイルス感染症の状況をふまえてSXSW2022への出展チーム募集を中止本郷テックガレージ(学生が技術的なサイドプロジェクトを行うための開発拠点)
東京医科歯科大学	<ul style="list-style-type: none">東京都との協定事業「創薬・医療データ科学イノベーション人材育成事業」で、創薬・医療等の領域での起業・新規事業開発に関心のある社会人・学生を対象として、「アントレプレナー育成プログラム」及び「デジタルヘルス人材育成プログラム」の2つのプログラムを令和3年度から開講 ※令和3年度実績 ・アントレプレナー育成プログラム(2021年6月～11月に91コマ実施) ・デジタルヘルス人材育成プログラム(2021年12月～2022年3月に50コマ実施)
東京工業大学	<ul style="list-style-type: none">大学院教育において、リーダーシップ教育の一貫として、アントレプレナーシップ論、デザイン思考、経営管理基礎等の『テクノアントレプレナーシップ教育』を実施 CBEC、PEECs、ToTAL、CUMOTという4つのプログラムを実施

IV. 大学の取組(4/6)

2. 地域の大学における起業家教育の取組(2/2)

大学名	主な取組の概要
東京都立産業技術大学院大学	<ul style="list-style-type: none">「AIITシニアスタートアッププログラム」(起業に挑戦するシニア層のための学びの場として、起業に必要な知識及びスキルを短期間で修得できるよう、大学院教育(修士課程)レベルでの学び直しを推進(履修証明プログラム、職業実践力育成プログラム(BP))の実施
早稲田大学	<ul style="list-style-type: none">WASEDA-EDGE人材育成プログラム(文部科学省次世代アントレプレナー育成事業(EDGE-NEXT)採択)を実施し、ビジネスクリエーション科目をはじめとした様々な起業家教育プログラムを実施
筑波大学	<ul style="list-style-type: none">学部生向けの授業科目として、「次世代起業家養成講座」、「起業家のための経営・知財必須知識」、「筑波クリエイティブ・キャンプ・ベーシック」を実施大学院生向けの授業科目として、「筑波クリエイティブ・キャンプ・アドバンスト」を実施大学院生・ポスドク、研究者、民間企業の方向けに、「アントレプレナーシップトレーニング」、「アントレプレナーシップデベロップメント」を実施
横浜国立大学	<ul style="list-style-type: none">講義の実施 ①DeruQui流 イノベーター養成講座 横浜版 ②デジタルイノベーター支援人材養成講座 ③アントレプレナー概論1・2 ④ビジネスモデルデザイン1・2 ⑤起業のためのピッチ演習1・2 ⑥起業のための知財概論 ⑦デザイン思考とUX概論 ⑧デザイン思考とUX実習
横浜国立大学	<ul style="list-style-type: none">医系研究者対象起業ミニセミナー(30分のオンラインミニセミナー)学部横断の領域横断型プログラム「企業家育成プログラム」の実施

IV. 大学の取組(5/6)

3. 大学と地方自治体、民間のスタートアップ創出・支援に関する連携(1/2)

大学名	主な取組の概要
慶應義塾大学	<ul style="list-style-type: none">• はまぎん財団助成金事業:ヘルスケアやIT分野の新技术に関連したビジネスアイデアを募り、総額で最大2千万円を助成(慶應義塾大学・川崎市産業振興財団・横浜銀行の3者で川崎市域における産業振興)• (地独)神奈川県立産業総合研究所と連携協定 殿町LICに産学公で、首都圏のベンチャー企業等が細胞の培養・加工設備を共同利用できる仕組みを構築し、設備の導入候補アイテムへの支援を実施
順天堂大学	<ul style="list-style-type: none">• AIインキュベーションファームを核とした「幸福100年社会を築く次世代医療エコシステムの実現」に向け東京コンソーシアム大学WG内にPT設置• 経産省「地域新成長産業創出促進事業費補助金(地域産業デジタル化支援事業)」において、スタートアップ企業を含む企業と医師のイベントを実施<ul style="list-style-type: none">①「医師×企業 架け橋ピッチ」(会期:2021年10月～2022年1月)②セミナー「デジタル技術と医療の融合によるスマート医療・スマートヘルスケア社会の構築」(2021年9月15日)③マッチングセッション「ICTを活用した医療現場の課題解決についてー医師と企業のマッチングセッションー」(2021年9月15日)
東京大学	<ul style="list-style-type: none">• 「柏Ⅱキャンパス産学官民連携棟」のインキュベーション施設では、東京大学の研究・教育成果の事業化・実用化を目指す個人及び法人に対して起業環境を提供
東京医科歯科大学	<ul style="list-style-type: none">• 医療系産学連携ネットワーク協議会(medU-net)では、研究者・産学連携担当者を対象とした、『起業』について、基礎知識から学ぶためのセミナーを開催• 東京コンソの会員向けイベントに登壇し、TIP(TMDU Innovation Park)」の取組を共有
東京工業大学	<ul style="list-style-type: none">• 「東工大横浜ベンチャープラザ(YVP)」を中小企業基盤整備機構及び横浜市と共同して設置• 「GAPファンド」を芙蓉総合リース株式会社及び株式会社みらい創造機構と共同で運用• 東京大学協創プラットフォーム開発株式会社(東大IPC)主催「1st Round」に参画

IV. 大学の取組(6/6)

3. 大学と地方自治体、民間のスタートアップ創出・支援に関する連携(2/2)

大学名	主な取組の概要
早稲田大学	<ul style="list-style-type: none">早稲田大学の研究成果を活用したベンチャーの創出を更に加速させるため、大学の名を冠した「早稲田大学ベンチャーズ(WUV)」創設を決定。80-100億円程度の規模のファンド創設に向けて検討を実施
筑波大学	<ul style="list-style-type: none">JST「社会還元加速プログラム(SCORE)大学推進型」及び文科省「EDGE-NEXT」での起業活動支援活動において(一社)TXアントレプレナーパートナーズ(TEP)と連携東京大学協創プラットフォーム開発株式会社が主催するコンソーシアム型インキュベーションプログラム「1stRound」に参画つくばスタートアップ・エコシステム・コンソーシアムによる「Tsukuba Startup Week 2021」に参画(2021.12.15~12.19)
横浜市立大学	<ul style="list-style-type: none">SCORE大学推進型拠点都市環境整備型に採択。横浜市内4大学(神奈川大、関東学院大、横浜国立大、横浜市立大)と自治体と連携してスタートアップ創出のためのエコシステム構築を行う。

V. 都市の環境・繋がり の状況 (1/3)

1. 都市の集積・環境の概要 (グローバルな人材を惹きつける環境)

(1) 都市の集積の概要

- 東京には、圧倒的な市場・産業、資金、人材、知見が集積。
- 日本の資本金10億円以上の企業のうち、約半数にあたる約3,000社が東京に集積するなど国内ビジネスの中心であるとともに、国際的なビジネス拠点として、東京には日本全体の約76%にあたる2,400社を超える外資系企業が集まる。また、Fortune Global 500掲載企業の本社数では世界トップクラスを誇る。

(2) 都市の環境の概要

- 高い交通利便性、国際空港へのアクセス
- 森記念財団「世界の都市総合力ランキング」で東京は6年連続3位、全分野で高い評価
- 経済(4)、研究開発(4)、文化・交流(4)、居住(9)、環境(17)、交通・アクセス(5)

※()数字は分野別ランキング



出典: 東京都総務局「東京都の人口(推計)」、東京都総務局「暮らしと統計2021」、東京都産業労働局「グラフィック東京の産業と雇用就業 2021」、The United Nations「World Population Prospects 2019」、fDi Intelligence「Asia—Pacific Cities of the Future 2019/2020」、森記念財団「世界の都市総合力ランキング」、A. T. Kearney「Global Cities Index 2021」、monocle「Livable Cities Index 2021」、Condé Nast Traveler「Readers' Choice Awards 2021」(Big Cities)

V. 都市の環境・繋がり の状況 (2/3)

2. スタートアップ支援者等の交流する施設・場(公的施設・民間施設)

【大手町・丸の内・有楽町エリア】

- ・TOKYO創業ステーション(丸の内)
- ・東京開業ワンストップセンター(丸の内サテライト)
- ・NEXs Tokyo
- ・FINOLAB
- ・3×3 Lab Future
- ・Global Business Hub Tokyo
- ・SAAI Wonder Working Community
- ・EGG JAPAN
- ・TOKIWA BRIDGE
- ・Inspired.Lab
- ・東京金融ビレッジ
- ・MIRAI LAB PALETTE
- ・BeSTA FinTech Lab

【渋谷エリア】

- ・東京開業ワンストップセンター(渋谷サテライト)
- ・青山スタートアップアクセラレーションセンター(ASAC)
- ・Plug and Play Shibuya powered by 東急不動産
- ・100BANCH
- ・EDGEof
hoops link Tokyo
- ・WeWork Shibuya Scramble Square
- ・Shibuya Inclusion Base Jinnan
- ・H10渋谷神南
- ・GUILD公園通り
- ・GUILD神南一丁目
- ・NEUTRAL INNOVATION BASE (NIB)
- ・Shibuya Open Innovation Lab (SOIL)
- ・SHIBUYA QWS

【日本橋エリア】

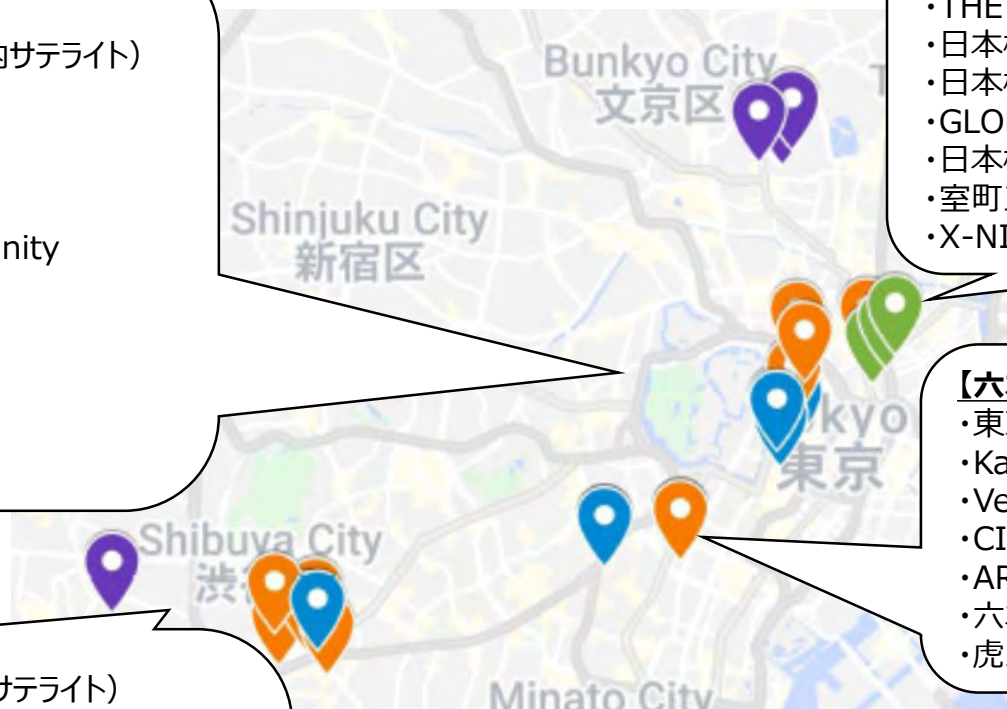
- ・THE E.A.S.T. 日本橋富沢町
- ・日本橋ライフサイエンスビルシリーズ1~11
- ・日本橋ライフサイエンスハブ
- ・GLOBAL LIFESCIENCE HUB
- ・日本橋三井ホール
- ・室町三井ホール&カンファレンス
- ・X-NIHONBASHI TOWER

【六本木・赤坂・虎ノ門エリア】

- ・東京開業ワンストップセンター(赤坂)
- ・KaleidoWorks
- ・Venture Café Tokyo
- ・CIC TOKYO
- ・ARCH
- ・六本木アカデミーヒルズ
- ・虎ノ門ヒルズフォーラム

【その他エリア】

- ・TOKYO UPGRADE SQUARE(新宿)
- ・東京コンテンツインキュベーションセンター(TCIC)(中野)
- ・TOKYO創業ステーション(立川)
- ・SMARTCITY × TOYKO(東京都スマートシティ連絡会)
- ・柏の葉カンファレンスセンター
- ・東京大学産学連携プラザ(本郷)
- ・東京大学アントレプレナープラザ(本郷)
- ・東京大学南研究棟(本郷)
- ・東京大学産学官民連携棟(千葉県柏市)
- ・東京大学駒場連携研究棟インキュベーションルーム



V. 都市の環境・繋がり状況 (3/3)

3. スタートアップ関連イベントの開催状況

【六本木・赤坂・虎ノ門エリア】

- Innovation Leaders Summit2021
- FUSE Vol.2
- Thursday Gathering (毎週木曜日、年約50回)
- Rocket Pitch 2021 (Spring, Autumn)
- 始動 Next Innovator2021
- ウェルエイジング経済フォーラム2021

ほか多数開催



【日本橋エリア】

- LINK-J Meetup
- LINK-J Networking Talk
- Miyaman's venture talk
- 政策キーパーソンシリーズ
- LINK-Jシンポジウム
- NIHONBASHI SPACE WEEK

ほか多数開催

【大手町・丸の内・有楽町エリア】

- FIN/SUM 2021
- Morning Pitch (毎週木曜日朝)
- Keidanren Innovation Crossing (KIX)

ほか多数開催

【渋谷エリア】

- Plug and Play Shibuya powered by 東急不動産
イノベーションに関連するイベントの実施
その他、Plug and Play Japan主催イベント多数
- Social Innovation Week Shibuya2021
- Shibuya QWS
各種イベント実施 (186回)

ほか多数開催

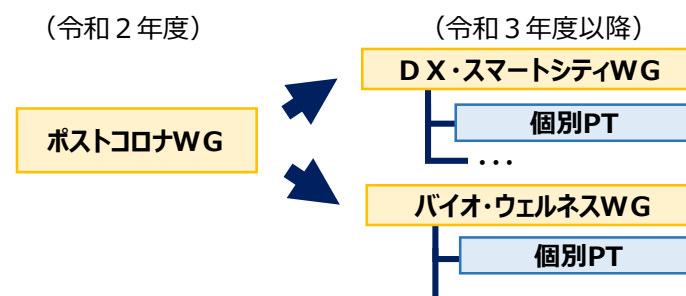
【その他エリア】

- 柏の葉エリア
 - Asian Entrepreneurship Award (AEA)
 - 柏の葉イノベーションフェス (KIF)
- 横浜エリア
 - 横浜・大学対抗ビジネスプランコンテスト
(横浜国立大学、横浜市立大学、神奈川大学の学生・大学院生)

VI-1. ウィズコロナ・アフターコロナを考慮した拠点形成

1. DX・スマートシティWG・バイオ・ウェルネスWGの設置

ポストコロナWGでの示唆の踏まえ、感染症の危機を乗り越え、新しい未来を切り開き国際競争に打ち勝つための重要分野として、令和2年度に「DX・スマートシティWG」、「バイオ・ウェルネスWG」を設置



2. DX・スマートシティWGの取組

WGの目的

社会の変化・変革を見据え、「新しいつながり」や「新しい暮らし方・働き方」の実現、「過密から快適な都市構造への転換」による新たな価値を創造していく必要があることをふまえ、都市のDX化・スマート化の鍵となる技術やサービスを有するスタートアップを巻き込み、社会課題の解決とイノベーションの創出を目指す

R3実施内容

会員の三菱地所とTMIP(Tokyo Marunouchi Innovation Platform)が取り組む「大手町・丸の内・有楽町地区スマートシティプロジェクト」の取組を共有

3. バイオ・ウェルネスWGの取組

WGの目的

バイオ・ウェルネス分野に精通したプレイヤーとスタートアップをつなぎ、シーズの事業化、投資の促進、市場領域の拡大を図る

R3実施内容

- ① バイオインダストリーの先駆的存在である一般財団法人バイオインダストリー協会(JBA)が登壇し、同協会の取組や同協会が事務局を務めるGreater Tokyo Biocommunity(GTB)の取組紹介、バイオと他分野のコラボレーションの必要性等について共有
- ② 会員の三井不動産を中心に設立したLINK-Jのライフサイエンスにおけるオープンイノベーション促進の取組を共有

VI-2. グローバルを考慮した拠点形成(1/7)

1. Team Invest Tokyo PTに関連した取組

東京開業ワンストップセンター(TOSBEC)

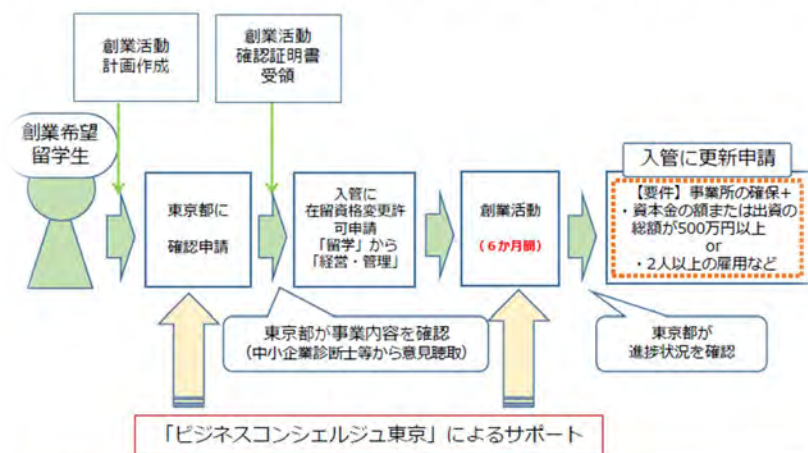
- 法人設立や事業開始時に必要な行政手続(定款認証・登記・税務・年金/社会保険・入国管理)を1か所で行うことができるように集約化。赤坂、渋谷・丸の内の中の3箇所窓口を設置。
- 各省庁から派遣された相談員を配置し、申請書類の受付までサポート。
- 電子申請や相談時の多言語通訳サービスを提供、外国人起業家の利便性を向上(英語通訳は常時対応)
- 新型コロナ感染拡大とそれに伴う緊急事態宣言等の状況を踏まえ、前年に引き続きオンライン対応を強化
- 起業を検討している日本人・外国人のための ①セミナー46回、②相談会44回を実施
日本政策金融公庫、Startup Hub Tokyo、TECC、東京理科大学、
オーストラリア・ニュージーランド商工会議所等とも連携
・令和3年度のセンター利用者のうち、約4割がセミナー参加者
- 平成27年度～令和3年度迄累計で20,782名(うち外国人6,372名)が利用
令和3年度の利用件数は3,896名



外国人創業活動促進事業

- 東京都が、創業活動に係る事業の計画の確認を行うこと等により、創業外国人上陸審査基準を満たす外国人への「経営・管理」ビザの付与を(6か月)の在留資格認定をサポート
- 令和3年度より、滞在資格「留学」で国内に滞在している外国人も本制度を利用して「経営・管理」資格へ変更することが可能になった

◆ 在留資格「留学」から「経営・管理」に変更する場合

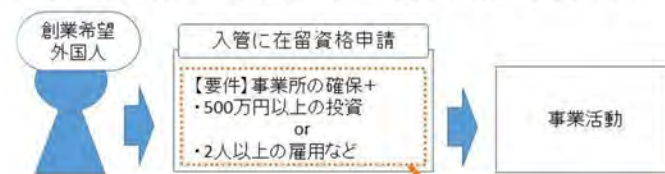


- <申請書類>
- 創業活動確認申請書
 - 創業活動計画書
 - 履歴書
 - 申請人の旅券の写し
 - 住民票
 - 在留カード面の写し
 - その他、必要書類

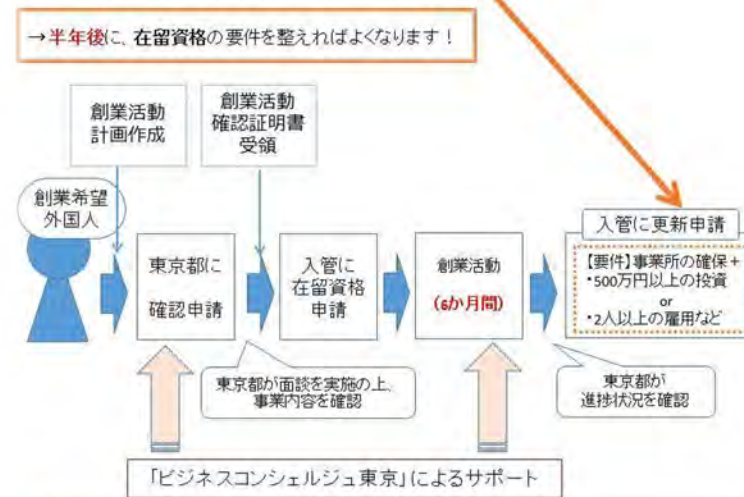
- <創業活動確認申請時における面談について>
- 申請後、東京都の担当者が申請者との面談（対面またはメール）を実施します。
 - 対面による面談の日時と場所については、都の担当者よりメールでご連絡いたします。

本制度の概要

【従来の「経営・管理」の在留資格取得の流れ】



【入管法の特例を活用した流れ】



- <申請書類>
- 創業活動確認申請書
 - 創業活動計画書
 - 履歴書
 - 申請人の旅券の写し
 - 申請人の上陸後6か月間の住居を明らかにする書類
 - その他、必要書類

- <創業活動確認申請時における面談について>
- 申請後、東京都の担当者が申請者との面談を実施します。
 - 面談の日時については、都の担当者よりメールでご連絡いたします。
 - 面談場所は東京都庁第一本庁舎です。

ビジネスコンシェルジュ東京

- 日本の商習慣等ビジネス全般にわたる相談や、法人設立から販路開拓までに必要となる諸手続きの相談等に、英語の堪能なスタッフが一貫して対応し、東京でのビジネス展開をサポート
- 令和3年度も、前年に引き続きオンラインを中心に対応。
コロナの影響等によるビジネス環境変化への対応として、入国できない外国人創業人材への代理人を通じた対応、投資計画を見直す企業への拠点設立に向けたアドバイスなど、コロナ禍での進出及び定着に係る専門的なビジネス支援業務を実施
- 金融系企業への対応として、拠点設立補助金に加え、令和元年度・2年度に拠点設立した金融系外国企業を対象に、定着・成長を促進する「パワーアシスト補助金」の案内を実施
- 平成24年度～令和3年度迄の約10年間で累計14,581件の相談に対応
令和3年度の対応件数は2,065件 ※96%が非接触型の対応
- 補助金等について236件、創業人材については693件の相談対応実施



ビジネスコンシェルジュ東京・香港窓口【令和2年10月～】

- 相談方法: オンライン(対面は事前予約制)
- 対応時間: 平日9:00～18:00(現地時間)
- 窓口機能
 - 相談対応: 東京進出に際してのビジネス支援、マッチング、税務相談等
 - 市場調査: 現地市場の動向や海外企業のニーズ調査・報告
 - 情報発信: 海外企業やメディアに対する東京の魅力PR



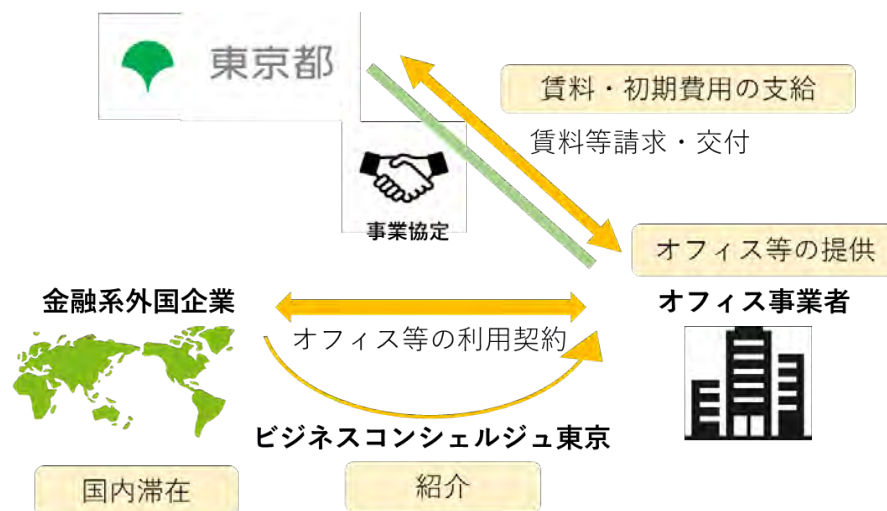
金融系外国企業・人材に対する一時的オフィス提供【令和2年11月～】

- 新たに東京進出を検討する、アジアを中心とした金融系外国企業に対して、東京進出に向けた事前調査(リサーチ)等に必要となるオフィスを提供

- オフィス提供事業者と事業協定を結び、都がオフィス賃料等を負担

[オフィス提供事業者(五十音順)]

WeWork Japan、サーブコープジャパン株式会社
ディ・エグゼクティブ・センター・ジャパン、東京建物株式会社
平和不動産、三井不動産、三菱地所、森ビル



Invest Tokyoオンラインセミナー【令和3年度】

■外国企業誘致及び東京のエコシステムのPRのため、世界4都市及びその周辺地域を対象とするオンラインイベントを開催。

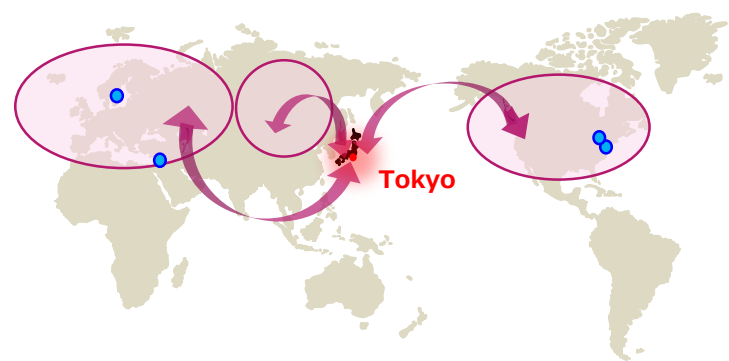
＜開催時期、テーマ、開催都市＞

7月14日：FinTech／ニューヨーク

7月29日：資産運用／トロント

9月21日：第四次産業革命／ストックホルム

12月8日：スタートアップ・エコシステム／テルアビブ



■各現地ハブ組織と共同開催することで、東京のエコシステムコミュニティのグローバル化に向けたネットワーク構築を促進

グリーンファイナンス外国企業進出支援事業【令和3年10月～】

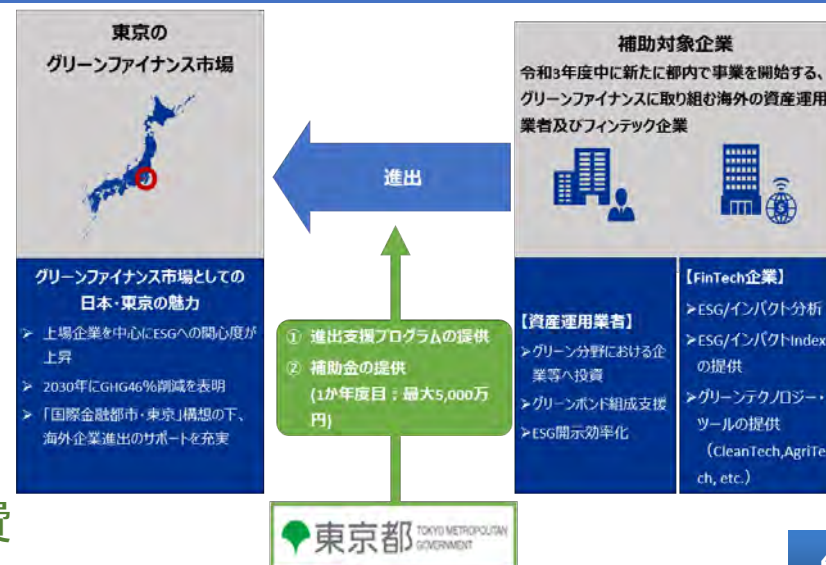
■グリーンファイナンスに取り組む金融系外国企業※の東京への進出を支援するため、対象企業に対して「進出支援プログラム」の提供と「補助金」の交付を実施

※ 資産運用業又はFinTech事業を営む外国法に基づき設立された法人

補助金：初年度最大5,000万円（全額補助）

対象経費：人件費、人材採用経費、オフィス賃料

器具備品購入費、専門機関コンサルティング費



VI-2. グローバルを考慮した拠点形成(6/7)

2. ダイバーシティの取組

- エコシステムをさらに発展させ、東京を世界から人材・企業等が集まるグローバルな都市としていく上では、女性や外国人等をはじめとするダイバーシティの視点は非常に重要であることから、令和2年度にダイバーシティ確保にかかわる現状・課題を共有する「ダイバーシティPT」を設置
- 令和3年度は、今後のPT活動に繋げていくため、コンソーシアム会員に広く参加を呼びかけてグローバル化推進WGを実施し、会員のダイバーシティに関する取組を共有

3. グローバルイベントの開催(令和5年2月開催予定)

- 東京のスタートアップエコシステムのグローバル化を目指し、東京の発展に寄与する国内外スタートアップ等を支援するため、“TOKYO City-Tech”をテーマとしたグローバルイベントを開催。国内外プレイヤー間のコネクションを充実・拡大し、海外投資家を呼び込む
 - 本イベントの円滑・効果的な実施に向け、東京コンソーシアム内に設置した「Web Summit PT」を「グローバルイベントPT」と名称変更し、コンソーシアム会員と議論・検討
- ※ 令和4年9月の開催を予定していた「Web Summit Tokyo」は、コロナ禍を受けての状況変化に鑑み、開催を中止

グローバルイベント（仮称）（令和5年2月開催予定）

- 日時：令和5年2月27日(月)、28日(火)
- 主な会場：東京国際フォーラム(ハイブリッド形式)
- 主催：グローバルイベント2023実行委員会
- プログラム(予定)
 - ・海外著名人等による基調講演
 - ・国内外のスタートアップが参加するCity-Techコンテスト(ピッチイベント)
 - ・国内外のスタートアップと大企業、行政のオープンイノベーションの推進等

4. INNOVATION LEADERS SUMMIT (ILS) への参画

「東京グローバルスタートアップエコシステム構築に向けた連携協定」に基づき、ILSに参画
国内外の大手企業、スタートアップ、VCの協業・連携を強化

INNOVATION LEADERS SUMMIT 2022 (令和4年2月)

- リアルとオンラインのハイブリッドとして開催。リアルとオンラインのハイブリッドイベントとして開催。オンラインイベントには16,000名が、リアルイベントには2,000名を超える方が参加。またメインプログラムのスタートアップと大手企業の新事業創出マッチングプログラム「パワーマッチング」は、対面とオンラインで開催し、過去最多となる3,088件の商談を実施した。
- 都は、ILSの東京タイアッププログラムにおいて、大企業リバースピーチセッションにおける東京コンソーシアム会員からのプレゼンテーション実施、パワーマッチングにおけるコンソーシアム会員特別参加枠の設置、コンソーシアム会員からのスタートアップピッチ実施として参画している。

